



平成 30 年 2 月 1 日



北九州市環境局環境国際戦略課
担当:有馬、金子
電話:093-582-3804

世界銀行東京開発ラーニングセンター
担当:田中、岡澤
電話:03-3597-1316

世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト情報及び「北九州モデル 廃棄物管理と洪水リスク管理」に関する講演及びセミナーの開催について

世界銀行^{※1}と北九州市は、環境関係企業や国際関係機関等を対象として、標記の内容について、下記のとおり、講演及びセミナーを開催します。

また、「北九州モデル^{※2} 廃棄物管理と洪水リスク管理」とは、昨年 3 月に世界銀行と北九州市が締結した都市パートナーシッププログラム(GPP^{※3})の一環として作成したもので、途上国の急速な都市化に伴う「都市型水害と廃棄物管理」という課題解決に向け、本市の紫川再生やまち美化の市民参加の経験を踏まえたノウハウ等を体系的に整理しました。

今回、世界銀行と本市との締結による民間企業等への情報提供は初めてであり、海外への事業展開など新たなビジネスチャンスにつなげることを目的としています。

以下の2件とも、関係者のみが参加する会議です。

1 「北九州市環境産業推進会議」第 9 回総会での講演

- (1)日 時 平成30年2月5日(月)15:05～16:05
- (2)場 所 AIM ビル 3 階 311・312・313 会議室 (小倉北区浅野三丁目 8 番 1 号)
- (3)講 演 「複合的な課題解決のための日本の知見・経験の活用
～世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト等について～」
世界銀行グループ 東京開発ラーニングセンター(TDLC)
シニアマネージャー ダニエル・レヴィン 氏 ※同時通訳を行います。
- (4)参加者 北九州市環境産業推進会議への参加企業等 150 名

2 世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト情報セミナー

- (1)日 時 平成30年2月6日(火)11:00～12:00
- (2)場 所 JICA 九州国際センター 3 階 大会議室 (八幡東区平野二丁目 2 番 1 号)
- (3)講 演 「世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト情報及び
『北九州モデル 廃棄物管理と洪水リスク管理』について」
世界銀行グループ 東京開発ラーニングセンター(TDLC)
シニアマネージャー ダニエル・レヴィン 氏 ※同時通訳を行います。
- (4)参加者 市内の国際関係機関職員等 50 名
(国際協力機構(JICA)九州、北九州国際技術協力協会(KITA)、地球環境戦略研究機関(IGES)など)

※1：世界銀行

世界銀行は、貧困削減と持続的成長の実現に向けて途上国政府に対し融資、技術協力、政策助言を提供する国際開発金融機関です。世界銀行グループは5つの機関で構成されており、その重要な意思決定は加盟国が行っています。

世界銀行グループ(本部所在地:米国ワシントン D.C.)は1945年に設立され、1万人以上の職員が世界120か国以上で業務にあたっています。

※2：北九州モデル

(1)概要

- 北九州モデルは、北九州市の経験をもとに、都市開発及び都市運営のノウハウ(技術や知識)を体系的に整理したもので、途上国における都市の基本計画や管理計画を策定するためのマニュアルです。
- 計画策定の手順書(テキスト)、計画策定に役立つツールキット(チェックリスト等)、豊富な実例を紹介するケーススタディ(エコタウン事業の展開など)で構成されています。
- 「廃棄物管理」、「エネルギー管理」、「上下水管理」、「環境保全」、「交通」の5分野に加えて、街づくり全体構想とのバランスをとり、相乗効果を生み出すための方法を提示しています。
- 今回、世界銀行と共同して、6番目の分野として「廃棄物管理と洪水リスク管理」を作成しました。この結果、途上国における都市の基本計画で対処できる課題の幅が広がりました。

(2)北九州モデルの活用と効果

- 「北九州モデル」を使って、相手都市と一緒に、各都市の現状とニーズに適応した計画を策定できる。
- 北九州市の先進的な事例をショールームとして活用できる。
- 「北九州モデル」を活用し、途上国都市のマスタープラン策定の段階から参画することで、様々なビジネスチャンスが生まれ、グリーンシティ(環境配慮型都市)の輸出の推進を図る。

(3)北九州モデルの活用事例

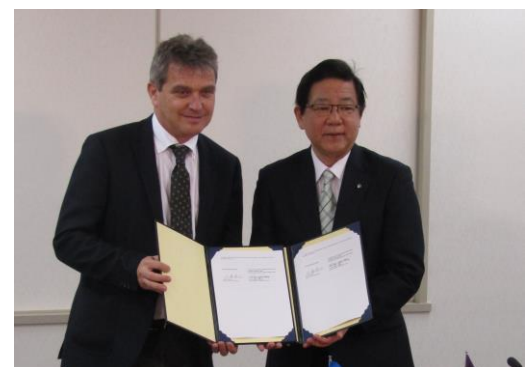
- 2015年5月に、姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市と共同で、同市が持続可能なグリーン・ポート・シティとして発展するために2050年を見通した計画「ハイフォン市グリーン成長推進計画」を策定しました。
- 現在、姉妹都市のカンボジア・プノンペン都と共に環境問題の改善・解決を目指すための「プノンペン都気候変動戦略行動計画」の策定を進めています。

※3：都市パートナーシッププログラム(CPP)

CPPとは、世界銀行が選定した日本の都市とともに、開発途上国が直面する開発課題に対し、日本の都市と途上国都市との連携を支援・促進し、解決策を提供することを目的としており、北九州市は平成28年7月に、横浜市、神戸市、富山市とともに選定されました。北九州市は、「グリーン成長」と「廃棄物管理」のテーマで活動しています。

(これまでの主な経緯)

- H28年7月 ・世界銀行がCPPの第1期都市として北九州市を選定
- H29年2月 ・国際協力や都市間連携の開発実務者向けに「知識と経験の交換技術ワークショップ」を開催。
- H29年3月 ・世界銀行と北九州市はCPPにかかる覚書を締結
・開発途上国の実務者のための研修を実施
途上国の研修員など61名参加
- H29年5月～
・「北九州モデル 廃棄物管理と洪水リスク管理」の作成



(世界銀行と北九州市のCPPにかかる覚書締結式)



北九州モデル 廃棄物管理と洪水リスク管理



JAPAN GOV
THE GOVERNMENT OF JAPAN

Tokyo
Development
Learning
Center



北九州市
CITY OF KITAKYUSHU